

平成20年度第4回土佐清水市地域公共交通協議会の概要

日 時：平成21年3月18日（水） 13：30～15：30

場 所：土佐清水市天神町11-2 土佐清水市役所2階 第一会議室

出席者

委員：西村会長（土佐清水市長）、田村氏（足摺交通ハイヤー社長代理）
西村氏（竜串見残観光ハイヤー）、小松氏（高知西南交通社長）
角田氏（土佐清水市連合区長会長）、彼末氏（県交通政策課長）
近沢課長（土佐清水土木事務所工務課長）
澤田氏（高知県地域づくり支援課）、山本氏（観光協会長）、
廣田氏（商工会議所会頭）脇谷室長（企画広報室）、
山田課長（観光課）、二宮課長（水産商工課）、
矢野川所長（福祉事務所）、木下課長補佐（まちづくり対策課長代理）

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

「1. 土佐清水市地域公共交通総合連携計画策定調査報告」

（委託業者）

- ・ 別添資料に沿って説明。

「2. 土佐清水市地域公共交通総合連携計画（案）について」

（委託業者）

- ・ 別添資料に沿って説明。

（会長）

本市の現状と課題、問題点はほぼ網羅していると思うが、皆さんのご意見をいただき、
良い計画としたいのでよろしく。

（委員）

それなりの課題をよく押さえていると思う。部分的に「けんみん病院への直行便」について
はかなり、利用したい人がいるのではないか。

また、高齢者への特典はほかにないか。

（委員）

西南の協議会の計画の中にもいろいろと入っているが、バス運賃が高い、便数が少ないこ
とで高齢者、交通弱者が利用しづらいということから、100円刻みの運賃や定期の割引、
免許返納サポート定期を终身使えるようになど、鉄道と共に実施する予定。

（業者）

けんみん病院への直行便は、運賃や回数などは実証運行する中で考えていく必要がある。

その他の100円刻み運賃や免許返納サポート定期については西南地域公共交通協議会の

計画に中に入っているのですが、域内と広域の計画がリンクすることはいいが、重複しないように、混乱を招かないように整理する必要がある。

(会長)

けんみん病院への直行便は、要望が多いはず。路線や回数を多くする必要があると思っている。

また、計画の中にもあるが、市の公共交通を守るためには市の職員が率先して取り組むべきと考えている。

この計画により、空白地域が解消でき、市民の足は市で、という形が出来るようにしたい。

(委員)

来年度からの事業では、割引などの事業への補助がないとのことだが、必要なことは実施なくてはならないし、県も補助を考えているようだ。

(委員)

市保有のバスの有効利用や乗り合いタクシーが定着すれば、ずいぶん乗りやすい公共交通ができるのではないかと思う。乗りやすければ、利用者、収益も増えるだろう。

(委員)

このまま利用者が減ると、いずれは廃止となる、これをどうするかということが一番の課題で、そのためにいろいろな方策が出ているので、いいと思う。

今後は行政が中心となって、市民に周知してもらいたい。

(委員)

3年間の事業に申請をするが、その3年後に形ができてるように、自助・公助・共助でやっていかななくてはいけない。

(会長)

市がどれだけがんばるか、ということだと思う。熱意だけでは維持できない。みんながそれぞれ、我慢もして協力していくべき。

いろいろ意見がでたが、この計画（案）を本市のこれからの計画として、ご承認いただきたいと思うがどうか。

○ 承認

「3. 地域公共交通活性化・再生総合事業計画の申請について」

(事務局)

21年度から23年度の事業の認定申請について説明。

計画にあげている10の項目について、3年かけて実証運行等を実施する。

その認定申請の期限がせまっているので、いま承認いただいた計画の中の事業に添って、事業経費を概算で出しているの、その分で認定申請の作業を進めたい。

(会長)

来年度から3か年の計画に申請をしなくてはならないということで、期限が迫っていることから事務局にその作成を任せていただき、委員の皆さんには、また後日報告をさせていただいてご承認いただくことでよろしいか。

○ 承認

(会長)

来年度からいよいよ実証運行などの事業が始まるので、委員の皆さんには来年度も引き続きこの会の委員として委嘱をお願いしたい。

この一年、ごくろうさまでした。また、来年度からよろしくお願いします。

4. 閉会